

令和8年度 「運営に関する計画」



大阪市立高見小学校
令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 学力については、学校全体としては年々向上している。しかし、学年による学力差は大きく、基礎基本の定着に課題である。生活指導面で課題がある学年については、学力においても伸び悩みがみられる。
- 生活指導については、不登校や遅刻児童の増加が課題である。外部機関との連携や家庭への啓発が重要である。
- 安全・安心な教育の推進に関わる「学校へ行くのは楽しい」「学校のきまりを守っている」「自分にはよいところがある」「いじめはどんな理由があってもいけない」の項目については、肯定的な回答をする児童の割合が、どれも80%を超える高い数値ではあるが、さらに意識の高い子どもの育成に取り組んでいく。
- 令和7年度末の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、中期目標を大きく下回った。体力向上は喫緊の課題である。熱中症予防などの観点から、運動がしにくい環境である時期が長いが、工夫を行い体力向上に取り組んでいく。
- 教育DXの推進については、昨年度から学習者用端末の持ち帰りを毎日実施し、定着している。今後は家庭における活用の方法について検討し、より効果的な活用に向け取り組んでいく。
- 教職員の働き方改革については、教科担任制や専科教員の配置等により、年休取得については一定の成果があった。しかし、教員によっては時間外勤務が長時間になっていることは課題として残った。意識改革も含め、課題解決に取り組んでいく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度末に学校生活アンケートにおける「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度末に学校生活アンケートにおける「自分によいところはありますか」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度末に学校生活アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を93%以上にする。
- 令和11年度末に学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度末に小学校学力経年調査の国語の正答率について、いずれの学年も大阪市平均を上回る。
- 令和11年度末に小学校学力経年調査の算数の正答率について、いずれの学年も大阪市平均を上回る。
- 令和11年度末に全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を男女ともに大阪市平均を上回る。
- 令和11年度末に学校生活アンケートにおける「算数の授業はよくわかりますか」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度末に小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 教員の 1 ヶ月あたりの平均時間外勤務時間を、月 20 時間以下にする。
- 令和 11 年度末に学校生活アンケートにおける「読書は好きですか」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 71%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習をすすめていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。
- 学校アンケートにおける「本を読むことは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

大阪市立高見小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育環境の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解全体会を設定し、情報を収集・共有し、「問題行動・いじめ・不登校」等、諸問題の解決に向けて全教職員が組織的に取り組む。 ・「学校生活の約束」を教室に掲示する。保護者にも配付し、教職員と児童、保護者が共通理解のもと一貫した生活指導を行う。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおける「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。 ・学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。 ・学期に 1 回以上、「学校生活の約束」を学校全体で確認する場を設ける。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育年間計画を作成し、互いの違いを理解し、認め合う児童集団の育成に努める。 ・「運動会」や「学習発表会」等の学校行事を通して、児童が達成感や成就感を味わうことができるように取り組む。 ・たてわり班、登校班、クラブ活動、委員会活動等の活動を通して、異学年交流や児童と教職員との関わり深める。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 ・年間計画をもとに、全学級で人権教育の実践を行い、年度末に実践報告を行う。 ・「運動会」や「学習発表会」などの学校行事では、委員会や代表委員会の児童が中心となって運営し、学校生活アンケートにおける「学校行事では、めあてをもって取り組むことができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 ・児童が自ら学校運営に関わることができるよう代表委員会を月に 1 時間設定する。 	

大阪市立高見小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現する授業力を身につけることをめざして全体での研究授業・研究協議会に取り組む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間6回以上の全体での研究授業・研究協議会を行う。 学校生活アンケート「算数の授業はよくわかりますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の体力保持増進のため、体育授業、体育的行事の充実を図る。 各学年の内容に応じた「体育がんばりカード」を作成し、活用を図る。また、がんばりを評価し、フィードバックするように工夫していく。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期に1回以上、「運動会」「なわとび週間」「かけ足週間」など、全校での体育的活動を実施する。 学校生活アンケート「体を動かすことは楽しいですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を94%以上にする。 	

大阪市立高見小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標③ 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習をすすめていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。</p> <p>○学校アンケートにおける「本を読むことは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が学習者用端末を日々の学校生活の中で、日常的に使うことができるよう、使用場面や使用方法の工夫を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習にすすんで取り組むことができましたか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を83%以上にする。 「朝の学習」や「学習タイム」、家庭学習等で、学習者用端末を週3回以上活用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務を分担し、教員一人一人の時間外勤務時間の削減を進める。 専科教員による授業、学年内での交換授業を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 月ごとの時間外勤務時間が45時間を超える教員の人数を前年度より減らす。 	
<p>取組内容③【生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な読書活動を通して、児童が本に触れる機会を増やしたり本のおもしろさを感じたりできるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の図書館開放や「読書タイム」の実施により、読書の機会を設け、年間で低学年は100冊以上、高学年は50冊以上読書する児童の割合を20%以上にする。 学校図書に関わる年間計画を立て、「3分間読書」「OneBookOneOSAKAへの投票」「読書の記録達成者の表彰」「お話会」等の取り組みを学期に1回以上行う。 	